

日本の人形劇によるシェイクスピア劇上演記録

佐々木 隆

人形劇によるシェイクスピア劇上演記録

プロローグ

シェイクスピア劇上演の多様化のひとつとして、人形劇を取り上げる。今回はその記録を時系列で取り合上げることとしたい。日本の人形劇によるシェイクスピア劇上演記録だけを取り上げる試みはおそらく本邦初となるのではないだろうか。なお、記録は初演を中心に、再演等も分かった範囲で取り上げた。劇団のHPも参考にしたが、詳細が分からない者も多かった。上演劇団でさえもあまりアーカイブを整備していないことが多く、書誌や上演史などを資料から捉えようと言う研究分野では大きな課題である。なお、今回の調査は戦後からはじめたため、戦前に人形劇によるシェイクスピア劇上演があったかどうかは、定かではない。

『ハムレット』、松竹系因会、大西利夫脚色、西亭

作曲、榎茂都陸平振付、ハムレットⅡ玉男、道頓

堀文楽座、一九五六年七月五日～二十九日

*文楽

『人形芝居マクベス』、ひとみ座、倉橋健訳、清水

浩二演出、東横ホール／第一生命ホール、一九六

一年五月十六日～十九日、二十四日～二十六日／

八月下旬（八月下旬についてはひとみ座のHPで

も未掲載）

『千日島のハムレット』、ひとみ座・発見の会、今

野勉・佐々木守作、瓜生良介・宇野小四郎演出、

ハムレットⅡ齊藤晴彦、フォエリアⅡ三輪勝恵、

千日谷公会堂、一九六七年十二月十日～十二日、
十七日～十八日

|| 中村邦隆（結城雪齋）、結城座、一九八二年四月十日～十一日、十六日～十八日、二十三日～二十五日

『人形劇ハムレット』、ひとみ座、山本清彦脚本・

*糸操り人形

演出、一九七〇年（月日）についてはひとみ座のHPで未掲載）

『人形芝居マクベス』、結城座、小田島雄志訳、佐藤信演出、結城座、一九八四年一月七日～八日

『テンペスト』、ひとみ座、山本清彦脚本・演出、

*糸操り人形

一九七一年（月日）についてはひとみ座のHPでも未掲載）

『人形芝居マクベス』、結城座、小田島雄志訳、佐藤信演出、マクベス|| 結城孫三郎、マクベス夫人

『ロミオとジュリエット』、ひとみ座、勝元勝人演出、

|| 富田直美（結城雪齋）、武蔵野芸能劇場、一九八五年四月十三日～二十九日

一九七一年（月日）についてはひとみ座のHPでも未掲載）

*糸操り人形

『人形芝居マクベス』、結城座、小田島雄志訳、佐藤信演出、マクベス|| 結城孫三郎、マクベス夫人

藤信演出、マクベス|| 結城孫三郎、マクベス夫人

『ある人形芝居の一座によるハムレット』、結城座、
福田善之構成・演出、武蔵野芸能劇場、一九八六
年一月十二日～二十六日

*糸操り人形

『人形芝居マクベス』、結城座、小田島雄志訳、佐
藤信演出、武蔵野芸能劇場、一九八七年四月十一
日～二十六日

*糸操り人形

『リア王』、ひとみ座、斎藤勇訳、伊東史郎台本・
演出、リア王Ⅱ須田輪太郎、コーディリアⅡ伴道
子、俳優座劇場、一九八八年六月～七月（上演日
についてはひとみ座のHPでも未掲載）

『ハルとフォルスタッフ』、結城座、福田善之構成・
演出、フォルスタッフⅡ金田龍之介（客演）、武

蔵野芸能劇場、一九八九年一月十四日～二十九
日

*糸操り人形

『リア王』、ひとみ座、伊東史朗演出、俳優座劇場、
一九八九年五月二十三日～二十五日

『オセロ』、結城座、木下順二訳、福田善之演出、

シアター・サンモール、一九九二年一月十五日～
二十一日

*糸操り人形

『天変斯止嵐后晴』、文楽（テンペスト）上演委員
会他 坪内逍遙訳、山田庄一脚色・翻案、鶴沢清
治作曲 阿蘇左衛門藤則（プロスペロー）Ⅱ吉田
玉夫 パナソニック・グローブ座 一九九二年二
月七日～九日

* 文楽

『リチャード三世』、結城座、小田島雄志訳、福田

善之演出、リチャード三世 結城孫三郎、アン Ⅱ

稲垣愛、パナソニック・グローブ座、一九九三年

五月十九日～二十三日

* 糸操り人形

『テンペスト』、結城座、小田島雄志訳、福田善之

演出、プロスペロー 結城雪斎、石橋蓮司、本多

劇場、一九九四年二月十七日～二十日

* 糸操り人形

人形劇『ハムレット』、クラルテ、東口次登脚色・

演出、ティジンホール（大阪）、二〇〇一年十月

四日～六日

『マクベス』、ひとみ座、松岡和子訳、友松正人台

本、藤川和人演出、俳優座劇場、二〇〇九年三月

二十四日～二十七日

『天変斯止嵐后晴』、国立文楽劇場 坪内逍遙訳、

山田庄一脚色・翻案、鶴沢清治作曲、国立文楽劇

場（大阪）、二〇〇九年七月十八日～八月五日

『天変斯止嵐后晴』、国立劇場 坪内逍遙訳、山田

庄一脚色・翻案、鶴沢清治作曲、国立劇場小劇場、

二〇〇九年九月五日～九月二十三日

『ロミオとジュリエット』、ひとみ座、藤川和人脚

本・演出、人形劇団ひとみ座第一スタジオ、二〇

一一年三月五日～八日

『夏の夜の夢』、結城座、小田島雄志訳、加藤直構成・演出、斎藤晴彦(客演)、宮本裕子(客演)、イワト劇場、二〇一二年三月八日〜三月十四日

*糸操り人形

『テンペスト』、ひとみ座、藤川和人脚本・演出、全労済ホール(新宿)、二〇一二年三月二十三日〜三月二十七日

『不破留寿之太夫』、国立劇場、河合祥一郎脚本、鶴澤清治監修・作曲、豊竹嶋大夫、豊竹咲大夫、国立劇場小劇場、二〇一四年九月六日〜二十二日

*文楽

『Hamlet』、たいらじょう脚本・演出、宮田大音楽構成、東京文化会館、二〇一六年二月二十七日

『リア王』、ひとみ座、斎藤勇訳、伊東史朗脚本・演出、県民芸術みらいホール(横浜)、二〇一六年三月二十四日〜三月二十七日

『リア王』、ひとみ座、斎藤勇訳、伊東史朗脚本・演出、調布市グリーンホール大ホール、二〇一七年二月四日

エピローグ

今回は記録の整理にとどめるが、今後特に注目してきたのが、文楽による『ハムレット』(一九五六年)、『天変斯止嵐后晴』(一九九二年、二〇〇九年)、『不破留寿之太夫』(二〇一四年)である。

シェイクスピア文楽とも言えるものだ。人形劇としてのシェイクスピア、日本の伝統芸能としてのシェイクスピアの二つの側面を持っている。日本の人形

劇史を意識しながら、今後さらに調査を続け、分析等を行っていききたい。

参考資料

佐々木隆 『日本シェイクスピア劇上演年表（増補改訂版）』（多生堂、二〇一六年四月）

佐々木隆 『日本の沙翁劇と英国のシェイクスピア

劇 受容を通して見る日本文化』（武蔵野学院

大学佐々木隆研究室、二〇一六年七月）

「結城座」

(<http://www.youkiza.jp/>)(20170601access)

「人形劇団ひとみ座」

(<http://hitomiza.com/>)(20170601access)